

越野さん デジタルコンテスト最優秀賞

流氷と北国の動物 絵本に



【紋別】北海道の魅力発信をテーマにした電子絵本のできばえを競う「第1回北海道デジタル絵本コンテスト」で、大山町の会社員越野由紀則さん(62)の作品「うみは しろいな おおきいな」が最優秀賞に輝いた。流氷と北国に住む動物がテーマで、越野さんは「紋別の良さを多くの人に知ってもらおうきっかけになれば」と力を込める。

(仲沢大夢)

優しい絵評価 「紋別の良さ知って」

コンテストは道内の出版社などをつくる北海道デジタル出版推進協会が主催した。中学生以上の道内在住者を対象に作品を募集。22点の応募があった。

受賞作「うみは」は、山に住むキタキツネが流氷が接岸する「ゴーゴー」という音を聞き、エゾリスとエゾシカ、フクロウとともに、

絵本「うみは しろいな おおきいな」の原画を手にする
越野由紀則さん

流氷の時期にやってくるアザラシに会いに行く物語。16ページで、物語の完成度やかわいらしく優しい絵などが評価された。

越野さんは紋別出身。道都大美術学部で絵を学び、「自分の世界を表現できる」と趣味で絵本づくりを行ってきた。流氷を題材にした作品が多く、今回も流氷の魅力を多くの人に伝えようと応募を決めたという。

絵はデジタルツールを使わず、パステルで柔らかいタッチで描いた。アザラシと「再会」する物語にしたことで、温暖化が進む中、この先も流氷が無くならないでほしいというメッセージも込めた。

2月に受賞の知らせが届き、越野さんは「体が震えた。たくさん子どもたちに読んでもらいたい」と話す。絵本は、札幌市電子図書館のホームページで閲覧できる。

2022年4月2日(土)
北海道新聞 朝刊 遠軽・紋別